

寺報

No.703

令和8年3月

蓮華寺
發行

御聖訓

この経きようを持つ人ひとは、百人ひやくにんは百人
 ながら、千人せんにんは千人ながら、一人いちにん
 もかけずほとけ仏なに成ると申もうす文もんなり。

『上野うえの尼御前あまごぜん御返事ごへんじ』



(解説)

法華経を心から信じ、命がけでお題目を唱えるなら、必ずその功德が心にしみ込み、また身体のあらゆる処に現れてくるものなのです。

まず法華経の書かれたお経本を手に取れば、その手がやがて仏になり、口に法華経を誦誦すれば、その口が仏になり、更に法華経に目を通せば、その目が仏になり、大曼荼羅御本尊を拝めば、その顔が仏になり、またお寺に足を運べば、その足が仏となり、ついには一切の悪業の因縁、つまり罪障を作らないようになるのです。

これを即身成仏というのであり、今現在の我々のその身そのままが仏と成るといふ事です。

つまり日蓮大成人は法華経を信じ切り、素直な心をもってお題目を唱えるならば、身分や貧富さらに職業に一切関係なく、たとえ我々が悩みや苦しみをもっていたとしても、一人も欠けず即身成仏が出来るとお説きになったのです。

どうか皆さん、実行あるのみです。

『春彼岸会』『星祭』

十七日(火)・二十日(金)・二十三日(月)

水 行・・・昼十二時半 大本堂前

法 要・・・午後一時 大本堂

法 話・・・約十分間

番 当 話 法		
十七日	塙 上人	
二十日	住職 上人	
二十三日	堯現 上人	

*角田堯現上人は彼岸中に大学の卒業式がありますので、最終日の日に「水行」と「法話」を行いますので、応援をよろしくお願いします。

④『春彼岸会』と『星祭』の法要は三日間ですが、先祖供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。
なお、合わせて星(剣守札)もご祈祷します。

星祭・春彼岸会・法要次第

- 一、勸 請 (導師が唱えます)
- 一、開 經 偈 (無上甚深微妙の)
- 一、お 經 (漢字読み)

〔序品第一〕方便品第二〕如来寿量品第十六
〔自我偈〕〕如来神力品第二十一〕觀世音菩薩普門品第二十五〕咒陀羅

- 一、ご 祈 禱 (法樂加持)
- 一、御 妙 判 (如説修行鈔)
- 一、お 題 目 (南無妙法蓮華經)
- 一、宝 塔 偈 (此經難持)
- 一、星 祭 祈 願 (導師が唱えます)
- 一、お 經 (自我偈・漢字読み)
- 一、お 題 目 (南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、彼 岸 回 向 (導師が唱えます)
- 一、四 誓 (衆生無辺誓願度)
- 一、お 題 目 三 唱

【法 話・・・約十分間】

④ご祈祷のお経は速く読みますので、ご了承下さい。

以上

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八〇〇円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。
どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追 膳(一週間)・・・四、二〇〇円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、また、お預かりの『お骨』に一週間上がりします。
「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。
また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

*剣 守 札(星)〔二体・二〇〇円〕

④星(剣守札)のお申し込みは、専用の申込書にお名前と性別・生年月日をお書きの上、お早目にお申し込み下さい。なお、宗派は問いません。

「星」(剣守札)を 申し込みましょう!

当山では『星祭』の期間中、一週間、皆様のご家族のお名前と性別・数え年を記入しました「星」(剣守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散し、一年間無事安泰でありますようにと祈願します。
その為に、当山僧侶が、十七日の彼岸の入り・二十日の中日・二十三日の明けの三日間、水行をし心身を清めてから、ご祈祷をします。

「星」はいわゆる「日曜星」土曜星の七曜星に、太陽と月をささぎる「羅喉星」、彗星である「計都星」を加えました「九曜星」を、皆様の年令と性別によって配当していきます。

それで、我々はその年の自分の運勢を知り、これを行動し、更に法華経・お題目の信仰を持つ事によって、より一層安心した人生を送れるのです。

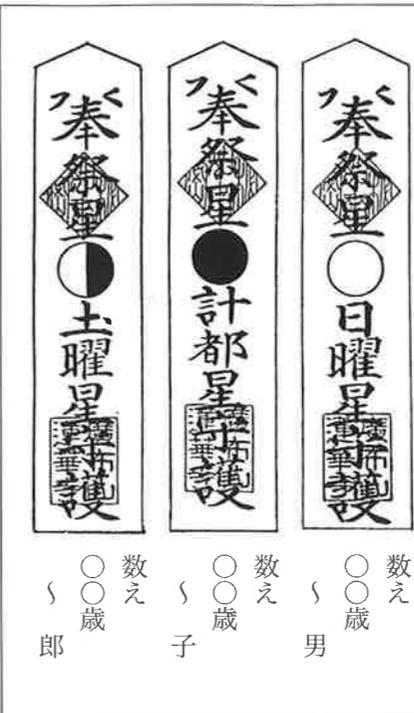
どうか、檀信徒の皆様は是非とも毎年この「星」(剣守札)をお申し込みになりますようにお願いします。
また、今までお申し込みしていなかった方も、今年よりよろしく願います。

星（劍守札）のまつり方

お寺より「星」を戴きましたら、そのままにして置かないで、必ず厚紙に貼り、各自の数え年と名前を書き、自宅の御寶前か仏壇の下の方にお祀りして、毎朝拝むようにして下さい。

また、昔より仏間のカモイに貼る家庭もあります。とにかく、一年間大事にお祀りする事が大事です。

令和八年度星祭



※なお、五枚まで貼れる専用の台紙も、事務所にて販売しております。

水行

当山の本寺に当ります、京都大本山『妙顕寺』開山の日像上人が、日蓮大聖人の帝都（京都）開教のご遺命を受け、妙法広布の大願成就を祈念する為に、またいかなる法難を堪え忍ぶ事が出来るようにと、鎌倉由比ヶ浜の海で、百日間の法華経読誦・お題目、そして水をかぶられたのが、日蓮宗での寒中水行の始まりといわれています。

この伝統を守り、日蓮宗の『大荒行堂』では、毎年十一月一日から翌年二月十日までの百日間、午前三時より午後十一時までの一日七度の水行が行われます。

本来、水には靈気があるといわれ、水をかぶる事で自らの罪障消滅をし、また忍難受苦の強い精神を養う事が出来るのです。

その為に、日蓮宗での水行は特に重要な意味があるのです。

当山では『お彼岸』に合わせ、『星祭』の行事として僧侶が三日間の水行をしますので、どうか皆様も参拝しお力添え戴き、そしてご祈祷を受けて下さいませようをお願いいたします。

三月十三日（金）

午後一時より

場所…大本堂

会 繁 涅 尊 釈



*お釈迦様が亡くなられました、祥月命日の日です。
 *十三日のお勤めの中で、一緒に執り行います。
 *お釈迦様へのお供物もお受け致します。

『位牌壇』を持ちましょう

- ◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖が今後代々に渡り守り続けられます。
- ◎仏様のご命日に旅行で不在の時や、ご高齢で家庭で追膳が作れない場合でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。
- ◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方もいます。
- ◎現在『位牌壇』をお持ちの方で、一年以上ご使用の方には、上位で空いている『位牌壇』を無料でお譲りしています。（注）管理費は変わります
- ◎青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

『靈断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

『九識靈断法』にて僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いません。

三月の行事

- 一 日(日) 盛運祈願会 午後一時より
 - ・お守り【靈神符】の交換の日です。
 - ・自ら進んでお勤めに参加し、お経を唱えましょう。
 - ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
 - ・蓮華寺檀信徒の方は、必ず【靈神符】をお持ち下さるようお願い致します。



三日(火) 妙見少祭 朝のお勤め中

十三日(金) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より
 ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
 ・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(金) 釈尊涅槃会 午後一時より
 ・十三日のお勤めの中で執り行います。

十六日(月) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中

『春彼岸会』・『星祭』【三日間】
 十七日(火)・二十日(金)・二十三日(月)
 【水行】 昼〇時半より
 【法要】 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

十二日(木) 星祭の準備 男女共・午前十時より
 *星祭の祭壇、水行等の準備
 十七日(火)【彼岸入り】 男女共・午前十時より
 二十日(金)【彼岸中日】 男女共・午前十時より
 二十三日(月)【彼岸明け】 男女共・午前十時より

② 『春彼岸会・星祭』の行事は三日間ですので、ご奉仕とご参拝は日程・時間をお確かめの上、お願い致します。
 また「水行」のお手伝いは、人手が沢山必要ですので、一日でも多くご奉仕下さい。
 特に二十三日(月)は星祭のお札を渡す日ですので是非ともご協力をよろしく願います。
 部員以外の檀信徒のお手伝いも大歓迎致します。

お守り奉仕しましょう

☆『春彼岸会の追膳』

十七日(火)〜二十三日(月)まで一週間
 『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時〜七時半頃迄】夕【午後三時〜五時頃迄】です。でお手伝い出来ます方は時間までご集合下さい。
 ② お手伝い希望の方は、教宣部員以外でも歓迎しますので、どうぞ時間までご集合下さい。

◎教宣部長 杉淵昌三

☆『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔・水子観音像・動物供養塔』の(彼岸供養)は、三月二十日(金)の午前十時三十分より、住職上人がまず大本堂にてご回向し、その後境内地の各塔でご供養します。ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。
 時間は約三十分くらいです。

☆三月まで、檀信徒研修会はお休みです。

『盛運祈願会』に参拝し 懺悔文を読みましょう!

懺悔とは懺悔滅罪の事をいい、いわゆる自らの罪を滅し、心から反省して、我々本来の仏の心に戻すという意味です。
 皆さんの中で、この世に生を受けて以来、現在に至る迄、全く罪を犯した事がないという人はいないでしょう。

皆様が読みます『聖典』(お教本)の『懺悔文』の中に説かれた罪には、誰でも関わりあいがあるはずですよ。よく「私は一生懸命祈っているのに、何故か願いが叶わない」などといった人に限って、自らの懺悔という事を忘れてるのです。
 それは、我々が現在の罪だけでなく、過去からの前世また先祖からの罪も受け継いでいるからなのです。その点を良く考えてみますと、大罪・小罪に関わらず自らが懺悔滅罪を実行していく事が大切なのです。
 特にお寺の御寶前で、諸天善神に守られながら、毎月一日の『盛運祈願会』に参拝し、懺悔文と法華経、そしてお題目の力で因縁罪障を消滅しましょう。

『春彼岸会』 『星 祭』

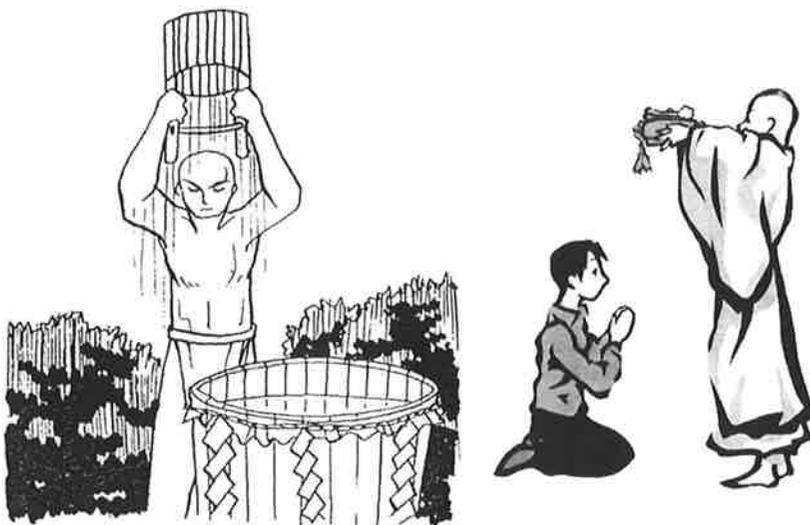
三月

十七日(火)・二十日(金)

二十三日(月) の三日間

水 行・・・・・・・・・・昼十二時半より 大本堂前

*檀信徒の皆様への応援をよろしくお願ひします。



水 行

法 要・・・・・・・・・・午後一時より 大本堂

法 話・・・・・・・・・・約十分間 法要終了後

(先祖供養・追膳・星【剣守札】・供物は受付中)

* 『水行』 『法要』 は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。なお、ご供養は残り四日間「朝のお勤め」の中でご回向します。